

第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

構想の推進

総合計画を推進するための土台づくり

- 1 全員参加によるまちづくりの推進
- 2 市民の信頼に応える行政運営
- 3 健全かつ持続可能な財政運営

担当課	企画課・秘書広報課・デジタル政策課・庶務課	構想の推進1の全指標達成率					
構想の推進	総合計画を推進するための土台づくり	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 1	全員参加によるまちづくりの推進	指標数	15	15	15	15	15
目指す姿	市民が積極的に様々な活動に参加することができる	達成数	8	7	9	0	0
	市民が持てる力を最大限に発揮し、想いを形にできる	達成率	53.3%	46.7%	60.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	2	2	2	2	2			
		達成数	0	0	0	0	0			
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	「市民活動などの地域活動の推進」に満足している市民の割合 (市民満足度調査)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		R2	目標値	67.0	68.0	69.0	70.0	71.0	%	秘書広報課
		65.9%	実績値	59.2	57.9	59.8				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
目標値の考え方	「市民活動などの地域活動の推進」に満足している市民の割合について、令和2年度実績65.9%を参照し、各年度1%程度の上昇を見込む中で71.0%とした。									
成果指標 2	「市民の声をうかがう機会の充実」に満足している市民の割合 (市民満足度調査)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
		R2	目標値	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0	%	秘書広報課
		50.7%	実績値	43.0	46.0	46.0				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
目標値の考え方	「市民の声をうかがう機会の充実」に満足している市民の割合は、令和2年度実績50.7%を参照し、各年度1%程度の上昇を見込む中で56.0%とした。									
R3年度	1 (実績評価)	魅力あるまちづくり事業補助金など市民が自主的に行う事業への支援を実施したが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から事業控えとなったことなどにより、基準値を下回ったと考えられる。 (次年度修正点) ・引き続き魅力あるまちづくり事業補助金について手引きの送付やHPへの掲載などで周知し、地域活動の推進を図っていく。								
	2 (実績評価)	新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度からタウンミーティングの参加対象者を限定したことなどにより、基準値を下回ったと考えられる。 (次年度修正点) ・令和4年度についても、引き続き新型コロナウイルス感染症対策は不可欠であることから、市長への手紙や意見箱など、タウンミーティング以外の広聴手段について周知を図っていく。								
R4年度	1 (実績評価)	魅力あるまちづくり事業補助金及び伊東市SDGs推進事業補助金など市民が自主的に行う事業への支援を実施し、魅力あるまちづくり事業補助金のイベント等の補助メニューについて補助率を2/3から3/4に引き上げたが、長期的な事業控えとなったために基準値を下回ったと考えられる。 (次年度修正点) ・引き続き、魅力あるまちづくり事業補助金及び伊東市SDGs推進事業補助金について手引きの送付やHPへの掲載などで周知し、地域活動の推進を図っていく。								
	2 (実績評価)	令和4年度から新たな広聴制度として市政WEBアンケートを開始し、広く意見を伺う機会を創出したものの、新型コロナウイルス感染症対策のためにタウンミーティングの参加対象者を限定したことなどにより、基準値を下回ったと考えられる。 (次年度修正点) ・引き続き、市政WEBアンケートや市長への手紙、意見箱などの広聴制度について周知を図っていく。								
R5年度	1 (実績評価)	魅力あるまちづくり事業補助金及び伊東市SDGs推進事業補助金など市民が自主的に行う事業への支援を実施したが、長期的な事業控えとなったために目標値を下回ったと考えられる。 (次年度修正点) ・引き続き、魅力あるまちづくり事業補助金及び伊東市SDGs推進事業補助金について手引きの送付や市HPへの掲載などで周知し、地域活動の推進を図っていく。								
	2 (実績評価)	意見箱、市政WEBアンケート、市長への手紙、タウンミーティングを通じて広く意見を伺っているが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症対策のためにタウンミーティングの参加対象者を限定したことなどにより、目標値を下回ったと考えられる。 (次年度修正点) ・令和6年度はタウンミーティングの参加対象者を限定せず、誰でも自由に参加できるようにするとともに、引き続き、市政WEBアンケートや市長への手紙、意見箱などの広聴制度について周知を図っていく。								
中間評価	1 (達成状況)	D								
	(実績評価)	魅力あるまちづくり事業補助金及び伊東市SDGs推進事業補助金など市民が自主的に行う事業への支援を実施したが、コロナ禍が落ち着いた後も長期的な事業控えとなったために目標値を下回ったと考えられる。								
	(今後の対応)	引き続き、魅力あるまちづくり事業補助金及び伊東市SDGs推進事業補助金について手引きの送付やHPへの掲載などで周知し、地域活動の推進を図っていく。								
	2 (達成状況)	D								
評価	(実績評価)	新型コロナウイルス感染症の影響により、タウンミーティングに参加対象者を限定せざるを得ない時期があったことにより、満足度が上昇しなかったと考えられる。								
	(今後の対応)	タウンミーティングの参加対象者を限定せず、誰でも自由に参加できるようにするとともに、引き続き、意見箱、市政WEBアンケートや市長への手紙などの広聴制度について周知を図っていく。								

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	13	13	13	13	13	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	8	7	9	0	0		
				達成率	61.5%	53.8%	69.2%	0.0%	0.0%		
O1 市政への参画機会の推進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	1	0	1	0	0		
				達成率	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O101	パブリックコメントの推進	1件に対する意見数（年間平均）	R1	目標値	3	3	3	3	3	件	企画課
			2件	実績値	12.3	2.8	8.8				
			評価	○ 達成	× 未達成	○ 達成					
O102	市民との協議機会の充実	未来ビジョン会議の開催回数	R1	目標値	10	10	10	10	10	回	企画課
			8回	実績値	2	3	8				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
O103	審議会等への参画推進	参画割合（参画人数実数/ポスト数）	R2	目標値	75.0	77.0	79.0	81.0	83.0	%	企画課
			72.8%	実績値	71.7	66.5	69.8				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
年 度 評 価	R3	O101 令和3年度のパブリックコメント案件は4件、意見の総数は49件となった。内容としては、伊東市新図書館基本計画（案）について多くの意見があったことから目標達成となった。今後も、多くの意見をもらえるよう、市民等に対し周知に努めていく。									
		O102 コロナ禍の影響により2回のみ開催となった。今後も市民との協議機会の充実を図るため、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、開催できる方法で実施していく。									
		O103 令和2年度と比べ、実績値が減少した。1人で多くの審議会委員に参画している方もいることから、重複している方を選出しないよう庁内において審議会に重複している方の情報共有を図り、多くの市民の意見を市政に反映させるよう努めていく。									
	R4	O101 令和4年度のパブリックコメント案件は4件、意見の総数は11件となった。内容としては、伊東市立地適正化計画（案）に対する意見募集について多くの意見があったが、他の3件については意見がなかった。案件ごとに概要版を作成し、分かりやすいように努めているため、より多くの市民から意見をもらえるよう、さらに周知に努めていく。									
		O102 コロナ禍の影響により3回のみ開催となった。次年度以降は、新型コロナウイルス感染症が収束しつつあることから、市民との協議機会の充実を図るため、開催していく。									
		O103 昨年度と比べ、実績値が減少した。多くの審議会等に参画している方もいることから、重複している方を選出しないよう庁内において審議会に重複している方の情報共有を図り、多くの市民の意見を市政に反映させるよう努めていく。									
	R5	O101 令和5年度のパブリックコメント案件は8件、意見の総数は70件となった。そのうち、伊東駅前広場整備計画（案）に対する意見募集について、23人から49件と多くの意見が寄せられ、関心の高さが認められた一方、福祉分野に関する2件の案件についてはともに0件であった。概要版の作成に当たっては、引き続き分かりやすさを心がけていきたい。									
		O102 オンライン参加も交え開催したものの、参加される委員の負担も考慮する中で開催数を調整したことから、目標回数は未達成となった。参加しやすい回数と充実した内容となるよう努めていく。									
		O103 昨年度と比べ、実績値が増加したものの、多くの審議会等に参画している方もいることから、目標値には届かなかった。引き続き、重複している方を選出しないよう、庁内において審議会に重複している方の情報共有を図り、多くの市民の意見を市政に反映させるよう努めていく。									
	中 間 評 価	O101（達成状況） B+									
		（実績評価）	・テーマへの関心の高さによる意見数の差が顕著であり、図書館、駅前広場整備など、目に見えて多くの方の生活に直結する分野については多くの意見が寄せられたものの、専門性の高い案件については意見が寄せられにくい傾向がある。								
		（今後の対応）	・概要版の作成については継続し、視覚に訴える構成や分かりやすい記載に努めていく。								
		O102（達成状況） D									
		（実績評価）	・コロナ禍において開催回数を抑えたものの、令和5年度からは、オンラインでの参加や高校生が委員として参加したことで、より多くの委員から新たな視点での意見や施策提案をいただくことができた。								
		（今後の対応）	・引き続きオンライン参加も併用しながら、委員が参加しやすい意見を提案しやすい会議の開催を心がけていく。								
O103（達成状況） D											
（実績評価）	・多少の増減はあるものの、ほぼ横ばいで推移している。多くの市民の意見を市政に反映させるため、重複している方を選出しないよう働きかけている部署も確認できた。										
（今後の対応）	・引き続き、重複している方を選出しないよう、庁内において審議会に重複している方の情報共有を図り、多くの市民の意見を市政に反映させるよう努めていく。										

02 市民の自主的なまちづくり活動への支援		達成状況	指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課	
			達成数	1	1	2	0	0			
		基準値	達成率	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
0201	地域や市民活動団体等が行う社会貢献活動への支援	まちづくり事業又は文化振興事業実施団体数	R1	目標値	58	59	60	61	62	団体	企画課 秘書広報課
			56団体	実績値	43	56	54				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
0202	市民活動団体等を対象とした相談会や研修会などの開催	相談会・研修会の開催回数	R1	目標値	13	13	13	13	13	回	企画課
			11回	実績値	10	11	13				
			評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成					
0203	自治会加入促進等の支援	HP・広報紙等で自治会活動を周知した回数	—	目標値	2	2	2	2	2	回	秘書広報課
			※	実績値	3	3	3				
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
R3	0201 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止する団体があったため、事業を実施した団体数は43団体となり目標値を下回った。										
	0202 新型コロナウイルス感染症の影響から、市民活動団体等がイベントの開催等の活動を見合わせるようなケースが多かったと考えられ、相談会の対応件数が減少したことで、目標値を下回った。										
	0203 広報紙にて3団体の活動を紹介し、加入促進のため自治会活動の周知を行った。										
R4	0201 新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止はなかったものの、事業実施の団体数は56団体となり、目標値を下回った。引き続き、各補助制度の周知を図っていく。										
	0202 新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動自粛などの行動制限が強いられたため、活動を見合わせる団体が多く、それに伴い相談会への申込み件数が減少したことで、目標値を下回る結果となった。										
	0203 広報紙にて3団体の活動を紹介し、加入促進のため自治会活動の周知を行った。										
R5	0201 事業の中止はなかったものの、事業実施の団体数は54団体となり、目標値を下回った。引き続き、市民活動団体等が活用できる各補助制度の効果的な周知に努めていく。										
	0202 相談会を開催した結果、NPO法人の設立を考えている方や個人活動から市民活動団体へ活動範囲を拡大していきたい方の相談があるなど、市民活動の動きが活発化してきていると思われる。										
	0203 広報紙にて3団体の活動を紹介し、加入促進のため自治会活動の周知を行った。										
中間評価	0201 (達成状況) D										
	(実績評価)	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、活動自粛などの行動制限があったものの、直近については、基準値近くまで回復傾向にあることから、今後、目標値の達成に期待できる。									
	(今後の対応)	・事業実施に伴う補助制度の効果的な周知に努めるとともに、必要に応じて補助制度の要件等について見直しを検討していく。									
	0202 (達成状況) B										
	(実績評価)	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、活動自粛などの行動制限があり、思うような活動ができなかったが、行動制限解除後は、目標値を達成するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大前の状況に戻りつつある。									
	(今後の対応)	・引き続き、市民活動団体等のための相談会を開催していくとともに、研修会等については、市民活動団体の活動に資する内容となるよう努めていく。									
0203 (達成状況) A											
(実績評価)	・過去3年とも、広報紙にて3団体の活動を紹介し、自治会加入促進のための地域活動周知を行った。										
(今後の対応)	・引き続き、地域活動の周知を行うため、広報紙へのより効果的な掲載を行っていく。										

※ 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

03 広報・広聴の充実及びわかりやすい情報発信		達成状況	指標数	4	4	4	4	4	単位 担当課	
			達成数	3	3	3	0	0		
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7		
				達成率	75.0%	75.0%	75.0%	0.0%		
0301 広報紙等の充実	市からの情報提供に対する満足度	R2 62.9%	目標値	64.0	66.0	68.0	69.0	70.0	%	秘書広報課
			実績値	53.7	55.5	59.4				
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
0302 SNS等を利用した情報提供機会の創出	年間掲載回数	R1 319回	目標値	480	480	480	480	480	回	秘書広報課
			実績値	1,064	799	572				
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0303 市民が意見や提案をしやすい環境づくり	タウンミーティングの開催回数	R2 16回	目標値	16	16	16	16	16	回	秘書広報課
			実績値	17	16	17				
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0304 わかりやすい文書等の作成のための仕組みづくり	文書事務研修会の開催	R2 1回	目標値	1	1	1	1	1	回	庶務課
			実績値	1	1	1				
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	0301 基準となる令和2年度と比較し体系的・システムの大きく変更した点はないが大きく目標値を下回ったため、要因は情報提供の内容が推察される。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に特化した広報紙を作成していたが、令和3年度の情報発信は必要最低限に留めた。引き続き市民のニーズを把握し、興味を持ってもらえる情報を意図的に発信することが必要である。									
	0302 令和2年度からメールマガジンと各種SNSを連携させることにより、各課からSNSへの即時掲載を可能とし、目標値を大幅に上回った。									
	0303 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催。市内15地区に加え、伊東市PTA連絡協議会及び伊東市保育園父母の会連合会との子育て世帯タウンミーティングを開催し、多くの意見を聴取した。									
	0304 文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									
年度評価	0301 基準となる令和2年度と比較し体系的・システムの大きく変更した点はないが大きく目標値を下回ったため、要因は情報提供の内容が推察される。令和4年度は市政WEBアンケートで「よく読んでいる記事」上位の項目である「観光イベント」、「保険・福祉・介護」の情報を重点的に掲載した。引き続き市民のニーズを把握し、興味を持ってもらえる情報の発信に努める。									
	0302 令和2年度からメールマガジンと各種SNSを連携させることにより、各課からSNSへの即時掲載を可能とし、目標値を大幅に上回っている。毎日配信を行っていた新型コロナウイルスの感染者状況を令和4年9月から週一回の配信としたため、前年度実績比は減となった。									
	0303 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催した。市内15地区に加え、伊東市保育園父母の会連合会との子育て世帯タウンミーティングを開催し、多くの意見を聴取した。									
	0304 文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									
R5	0301 令和5年度は令和4年度に実施した市政WEBアンケートで特に希望の多かった「健康・医療」の記事を中心に掲載し、市民のニーズに合った広報紙の作成に努めたが、目標値を下回った。引き続き、市民のニーズを把握し、情報発信に努めていく。									
	0302 令和2年度からメールマガジンと各種SNSを連携させたことにより、各課からSNSへの即時掲載を可能とし、目標値を大幅に上回った。新型コロナウイルスの感染者状況の配信が無くなったため、前年度実績比は減となった。									
	0303 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催した。市内15地区に加え、伊東市保育園父母の会連合会及び伊東市PTA連絡協議会との子育て世帯タウンミーティングを開催し、多くの意見を聴取した。									
	0304 文書事務に関する新任研修のほか、本市職員が閲覧できるガルーン（グループウェア）資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									
中間評価	0301（達成状況） D									
	（実績評価）		・市民満足度調査や市政WEBアンケートで希望の多かった項目について特に掲載を行い、市民のニーズに合った広報紙の作成に努めたが、目標値を大幅に下回った。							
	（今後の対応）		・市政WEBアンケートなどにより、引き続き市民のニーズを把握し、情報発信に努めていく。							
	0302（達成状況） A									
	（実績評価）		・令和2年度からメールマガジンと各種SNSを連携させることにより、各課からSNSへの即時掲載を可能とし、目標値を大幅に上回った。							
	（今後の対応）		・引き続き、SNS等を利用した情報提供機会の創出を推進していく。							
	0303（達成状況） A									
	（実績評価）		・令和2年度から5年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により、参加対象者を限定し、開催時間を1時間に短縮するなど、規模を縮小しての開催となったが、継続して開催し、多くの意見を伺うことができた。							
	（今後の対応）		・令和6年度からは誰でも自由に参加できる従来の開催方法に戻し、より広く意見を伺っていく。							
	0304（達成状況） A									
	（実績評価）		・継続的な研修実施のほか、本市職員が閲覧できるガルーン（グループウェア）資料室掲載による全庁的な周知により、適正な文書事務の定着を図った。							
	（今後の対応）		・今後とも適正文書事務の定着に向けた研修及び制度周知に努めていきたい。							

O4 情報化の推進及びデジタル社会への対応		達成状況	指標数	3	3	3	3	3			
			達成数	3	3	3	0	0			
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O401	ホームページ・メールマガジンの充実	ホームページアクセス件数	H27-R1平均	目標値	805,000	810,000	815,000	820,000	825,000	件	デジタル政策課
			802,792件	実績値	#####	1,262,677	904,138				
		メールマガジン登録者数	R1	目標値	13,000	13,500	20,000 (14,000)	20,200 (14,500)	20,400 (15,000)	人	デジタル政策課
			12,671人	実績値	19,182	19,940	20,487				
O402	オープンデータ化の推進	オープンデータの公開件数	R3.2.1	目標値	50	65	130 (80)	145 (95)	160 (110)	件	デジタル政策課
			34件	実績値	82	117	133				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
年度評価	R3	O401 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。									
	R3	O402 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。									
	R4	O401 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。また、メールマガジン登録者数については、令和4年度実績を踏まえ目標値の再設定を行った。									
	R4	O402 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。また、積極的に公開しているため、目標値の再設定を行った。									
	R5	O401 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。									
中間評価	R5	O402 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。									
	中	O401 (達成状況) A									
		(実績評価)	・2つの管理指標ともに令和7年度の目標値を上回る実績となっている。令和3年度及び令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の予防接種を目的としたアクセスにより、基準値を大幅に上回った。								
	間	(今後の対応)	・両媒体ともに市民に情報を伝えるための手段であり、より分かりやすく有益な情報を発信できるよう、職員に対する研修等を継続して実施していく。								
		O402 (達成状況) B+									
価	(実績評価)	・令和7年度の最終目標値には届いていないが、各年度の目標値は達成しており、概ね順調に進捗している状況である。									
	(今後の対応)	・年度ごとに定められている目標値を達成するため、積極的なデータ公開に努めるよう全庁的に周知を図っていく。									

※機構改革に伴う業務の見直しのため、～R4：秘書課、情報政策課、R5～：秘書広報課、デジタル推進課
※目標値における () は、当初の目標値

担当課	企画課・職員課・庶務課・デジタル政策課・収納課	構想の推進2の全指標達成率					
構想の推進	総合計画を推進するための土台づくり	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	2 市民の信頼に応える行政運営	指標数	21	21	21	21	21
目指す姿	市民に信頼される	達成数	13	12	13	0	0
		達成率	61.9%	57.1%	61.9%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	1	1	1	1	1		
		達成数	0	0	0	0	0		
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
成果指標	「市民に対する市職員の対応」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
成果指標 1		R2	69.0	70.0	71.0	72.0	73.0	%	職員課
		67.3%	62.3	64.2	67.6				
		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
目標値の考え方	令和2年度実績67.3%を参照し、各年度1%程度の上昇を目指し、73.0%とした。								
R3年度	<p>(実績評価) ・目標未達成であるが中期的な実績としては、平成29年度の57.5%、平成30年度の58.0%、令和元年の56.0%と比較して向上している。</p> <p>(次年度修正点) ・職員研修を実施し、接客技術の向上を図っていく。</p>								
R4年度	<p>(実績評価) ・令和3年度を上回る実績値であるが目標値には達していない。</p> <p>(次年度修正点) ・目標と実績の差は縮まっていることから、引き続き職員によるおもてなしコンシェルジュを実施し、市職員の対応の満足度向上を図る。</p>								
R5年度	<p>(実績評価) ・接客に関する研修を実施しているが、目標値には達していない。</p> <p>(次年度修正点) ・目標と実績の差は縮まっていることから、引き続き職員によるおもてなしコンシェルジュ研修を実施し、市職員の対応の満足度向上を図る。</p>								
中間評価	(達成状況)	B-							
	(実績評価)	・目標には至らないものの、実績は向上している。							
	(今後の対応)	・引き続き接客研修等を実施し、市職員の対応の向上を目指す。							

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	20	20	20	20	20	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況		
				達成数	13	12	13	0	0			
				達成率	65.0%	60.0%	65.0%	0.0%	0.0%			
O1 信頼される人材の育成				達成状況	指標数	5	5	5	5	5		
					達成数	3	2	3	0	0		
					達成率	60.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O101	社会情勢をとらえた研修の実施	集合研修等で実施するアンケートにおける受講者の習熟度	-	※1	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	%	職員課
					実績値	100.0	95.0	100.0				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成			以上		
O102	積極的な採用活動	職員採用試験における受験者数	R2	87人	目標値	90	95	100	100	100	人	職員課
					実績値	118	83	79				
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成			以上		
O103	効果的な人事評価の実施	人事評価に関する研修等で実施するアンケートにおける受講者の習熟度	-	※1	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	%	職員課
					実績値	-	100.0	100.0				
				評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成			以上		
O104	職員の心身の健康保持	特定保健指導実施率	R2	32.4%	目標値	35.0	40.0	45.0	45.0	45.0	%	職員課
					実績値	29.4	38.9	37.3				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			以上		
O105	職員相互の応援体制の充実	伊東市職員業務応援体制実施要領に基づく実施率	-	※2	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	職員課
					実績値	100.0	66.7	100.0				
				評価	○ 達成	× 未達成	○ 達成					
R3	O101	令和3年度は、管理・監督職を対象としたコンプライアンス研修を実施した。研修受講後のアンケートにおいて、理解できたと回答した受講者が100%（内訳は「よく理解できた」が29%、「理解できた」が71%）となり、目標値を上回った。										
	O102	令和2年度から、公務員試験対策が不要なSPI検査を導入し、受付方法についても郵送可能としたことから受験者数が増加している。令和3年度については、技能労務職員の試験を実施したことから、さらに受験者数が増加した。										
	O103	令和3年度は、受講対象の人数が少なく、伊東市での研修が実施できなかった。人事評価については、静岡県市町村振興協会が主催する「新任管理者研修」において学習しているが、派遣研修であるため、アンケートによる習熟度の測定ができなかった。										
	O104	令和3年度は夕方の受講時間を増やし、例年受けられなかった庁外職員が受講できるようにしたが、業務の都合上急なキャンセルが発生したことから受講率が減少した。										
	O105	コロナワクチン接種事務、防災資機材の移動作業、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事務において職員の応援を実施した。										
R4	O101	令和4年度は、管理・監督職を対象としたハラスメント防止研修を実施した。研修受講後のアンケートにおいて、理解できたと回答した受講者が95%（内訳は「よく理解できた」が56%、「理解できた」が40%）となり、目標値を上回った。										
	O102	一般事務（大卒）及び技能労務職員の受験者数が伸びず、目標値を下回った。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことに伴い民間企業への就職希望が増加したものと推測する。引き続き、インターンシップの受け入れや積極的な広報活動を行い、受験者数の増加を目指す。										
	O103	新任管理職を対象とした人事評価制度研修（eラーニング）を実施した。eラーニングの実施により、人事評価制度の一連の流れを受講者のペースで学習することができたため、研修受講後のアンケートでは、理解できたと回答した受講者が100%となり、目標値を上回った。										
	O104	指導対象者に通知を発送し受講の意思を確認している。令和4年10月に会計年度任用職員等が共済組合に加入したことにより、庁舎外対象者の割合が増加したため、目標値を達成できなかった。実績値は前年を上回っていることから、引き続き対象者への受講を促していく。										
	O105	応援体制を利用したい課には利用方法等の説明を随時行っている。実施要請は3件あったものの、そのうち1件は職員の調整がつかず、実施に至らなかった。引き続き、制度利用を希望する課に利用方法等の説明を行っていく。										
R5	O101	ハラスメント防止研修を2回実施した。研修受講後のアンケートにおいて、「よく理解できた」又は「理解できた」と回答した受講者の平均が100%であり、目標値を上回った。										
	O102	合格者が少ない職種については再募集を行っているが、受験者層全体の人口減やコロナ禍終了による民間企業への就職増が影響しているものと思われる。今後は試験実施時期等の見直しを検討し、受験者の増加に努めたい。										
	O103	新任管理職を対象とした人事評価制度研修を実施した。eラーニングでの実施により、受講者のペースで学習することができたため目標値を上回った。										
	O104	指導対象者に通知を発送し受講の意思を確認しているが、希望する職員の割合が低く目標値に達しなかった。今後も対象者に制度を周知し受講者増加に努める。										
	O105	短期的に人員を要する部署に利用方法等の説明を随時行い、2件の制度利用があった。										
中間評価	O101（達成状況） A											
	（実績評価）	・ハラスメント防止やコンプライアンスをテーマに研修を実施し、参加者は内容を十分に理解している。										
	（今後の対応）	・引き続き同様の研修を実施し、職員全体の理解に努める。										
	O102（達成状況） C											
	（実績評価）	・受験者の減少は、コロナ禍終了に伴う民間企業への就職増加のほか、受験者層全体の人数減も影響していると推定する。										
	（今後の対応）	・試験実施時期の見直し等を検討し、受験しやすい環境の構築に努める。										
	O103（達成状況） B+											
	（実績評価）	・新任管理職を対象とした人事評価制度研修の実施により、評価者評価は平準化されていると考える。										
	（今後の対応）	・引き続き新任管理職を対象とした人事評価制度研修を実施する。										
	O104（達成状況） D											
（実績評価）	・実施率は令和2年度から増加しているが、目標値には至っていない。											
（今後の対応）	・引き続き対象者に受講を促し実施率の向上に努める。											
O105（達成状況） B												
（実績評価）	・要請のあった部署への応援は概ね実現できている。											
（今後の対応）	・引き続き、制度利用を希望する課に利用方法等の説明を行っていく。											

※1 令和2年度までは、ポイント制としており、令和3年度からはパーセントでの集計とするため、基準値を一とした。

※2 令和2年度末に伊東市職員業務応援体制実施要領が策定されたため、基準値を一とした。

O2 持続可能な行政運営の確立・運用			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	1	1	2	0	0		
				達成率	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
					R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O201	PDCAマネジメントサイクルの推進	見直し事業の割合 20.6%	R2	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	%	企画課
			実績値	22.8	23.8	22.1					
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
O202	改革提案機会の推進	私の一改革提案件数 48件	R2	目標値	55	60	60 (120)	60 (400)	60 (600)	件	企画課
			実績値	52	48	57					
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
O203	先進技術（AI・RPA）等の活用推進	先進技術を取り入れた業務数（累計） ※3		目標値	検討	1	2	3	4	業務	企画課 デジタル政策課
				実績値	実証実験	1	4				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O204	民間活力の活用推進	サマーレビューにおける委託代替事業数及び新規委託事業数（累計） 1業務	R2	目標値	1	2	3	6 (4)	7 (5)	業務	企画課
			実績値	0	1	5					
			評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成					
R3	O201 令和2年度に比べるとパーセンテージが上昇したが、目標値には届かなかった。令和4年度については、重点的な見直し項目を増やすことで、積極的な見直しにつなげる。										
	O202 令和2年度に比べると提案数は若干増加したが、目標値には届かなかった。今後も優秀提案等を実現することで、提案数の増加に努める。										
	O203 音声文字変換システムについて、令和4年度の導入に向け実証実験を実施した。										
	O204 サマーレビューの見直しにおいて、委託代替に該当する事業はなかった。令和4年度のサマーレビュー実施に当たっては、各課へ民間活力の活用推進に係る検討を依頼するとともに、調書の確認の際にも同様の視点を持って確認を行い、事業の創出に努める。										
R4	O201 見直し事業の件数は増えたが、総事業数も増えており、割合としては目標値に届かなかった。令和5年度についても、引き続き見直し項目を増やし、積極的な見直しにつなげる。										
	O202 令和2年度と同様の提案件数となり、未達成となった。成果提案については、庁内で情報共有を行い、業務の効率化を図るとともに、ボトムアップ提案については、入賞した提案を中心に実現することで、提案件数の増加に努めていく。また、目標値について、庁内の共有ポータルサイトに提案を投稿することを前提に設定したが、本運用ができなくなったため、目標値を令和5年度から変更する。										
	O203 音声文字変換システムを導入したことにより、会議録作成時間の短縮につながり、業務の効率化に寄与した。										
	O204 新規事業を委託にて実施する取り組み1件にとどまった。令和5年度のサマーレビュー実施に当たっては、民間活力の活用推進に係る検討を重点項目として取り組み、民間活力活用推進に努める。										
R5	O201 全事業数は増加した一方で、見直し事業数は減少となった。形式化した作業にとどまらない事務事業の見直しを実施していくため、職員の意識醸成も図っていく。										
	O202 前年度から提案件数は微増となったものの、目標未達成となった。提案と実践につながるよう庁内での情報共有と提案しやすい環境を検討する。										
	O203 音声文字変換システムについては引き続き活用しており、デジタル政策課業務の一部（2業務）をRPAにより自動化することで業務時間の削減を図った。また観光課の公式HP「伊豆・伊東観光ガイド」内で、AIによる観光モデルコースの作成サービスを提供した。										
	O204 事業見直しに伴い、新規に民間活力の活用を進める事業は4件増加し、累計5件となり、目標値を上回った。令和7年度の目標値を達成したため、令和6、7年度の目標値を変更する。										
中間評価	O201（達成状況） D										
	（実績評価）	・一定規模の見直しは行われているものの、事務事業見直しの形式化、また見直しよりも事業拡大や新規事業の創設に重点が置かれる傾向があり、見直し件数の割合は20%前半にとどまっている。									
	（今後の対応）	・サマーレビューの原点に立ち返った意識啓発とともに、各役職における関わりを明確にし、事業担当者や係内にとどまらない議論が行われる仕組みにつなげていきたい。									
	O202（達成状況） B-										
	（実績評価）	・目標値には届いていないものの、成果提案・ボトムアップ提案ともに幅広い分野での提案がなされている。一方、提案から実現へつながる件数が少ない。									
	（今後の対応）	・改革につながる気づきや改革の実践方法を学ぶ研修を実施することで、提案と実践のしやすい環境づくりに努めていきたい。									
	O203（達成状況） A										
	（実績評価）	・日々進化していく様々なデジタル技術の情報を把握し、どのように業務に取り込めるかを検討、実施したことで、早期の目標達成となった。									
	（今後の対応）	・今後、実装した機能やサービスについては維持しつつ、市民の利便性向上及び職員の業務効率化のために、様々なデジタル技術の採用を検討していく。									
	O204（達成状況） B+										
	（実績評価）	・令和4年度1件、令和5年度4件の累計5件となり、令和7年度目標値を達成した。5件については、新たに事業を開始したものの、また既存の委託事業の見直しに伴い分割した新規事業として頭出ししたものであり、既存事業を民間や外部団体へ新たに委託するものはなかった。									
	（今後の対応）	・新規事業だけではなく、既存事業についても、効果的な事業執行や役割分担の視点からの見直しを進める必要がある。また、令和7年度の目標値を達成したため、令和6、7年度の目標値を変更する。									

※3 令和3年度から新たに検討していくものであることから、基準値を一とした。

O3 広域行政等の推進			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
主要内容			管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	各市町等との各分野における連携の推進	他自治体・企業等との新規連携事業数（累計）	— ※4	目標値	2	4	6	8	10	事業	企画課
				実績値	2	6	9				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	0301 他自治体と合同でセミナー等を開催することで、効果的な情報発信をすることができた。										
R4	0301 他自治体と合同でセミナー等を開催することで、効果的な情報発信をすることができた。										
R5	0301 他自治体と合同でセミナー等を開催することで、効果的な情報発信をすることができた。										
中間評価	0301（達成状況） B+										
	（実績評価）	・移住促進及び企業誘致の分野で、他自治体と共通のテーマをもって移住セミナーやサテライトオフィス視察ツアーを開催し、中間年の目標値を上回ることができた。									
	（今後の対応）	・相乗効果の高い自治体と連携を図り、効率的かつ効果的な情報発信をすることで移住促進及び企業誘致の推進に努めていく。									

※4 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

O4 内部統制の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2			
				達成数	1	1	1	0	0			
				達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%			
主要内容			管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0401	業務プロセスの可視化（事務の見える化）	不適正な事務処理の発生件数（懲戒処分を受けたもの）	R2 0件	目標値	0	0	0	0	0	件	職員課	
				実績値	1	2	1					
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
0402	業務手順書の整備	業務手順書のホームページでの公開数	R2 250件	目標値	280	400	410	420	430	件	職員課	
				実績値	392	404	418					
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
年度評価	R3	0401 市の文書取扱規程に違反したとして職員1人が懲戒処分となり、目標が達成できなかった。法令順守の徹底や、事務処理ミスの未然防止に努めていく。										
	R3	0402 令和3年度で主な業務の手順書の整備を目指しており、目標を上回る業務・事業について、手順書を整備・公開することができた。令和3年度時点で令和4年度以降の目標値をクリアできたため、目標値を変更し、今後は公開件数を増やすことに加え、内容の充実を図っていく。										
	R4	0401 発生した2件については職員の倫理観の不足が原因であるため、今後もコンプライアンス研修やハラスメント研修を実施し、コンプライアンスの強化を図る。										
中間評価	R4	0402 業務手順書の活用による業務の可視化・平準化に努めた。										
	R5	0401 職員の認識不足により生じた事案であるため、研修等を通じて職員全体のコンプライアンス向上を図る。										
	R5	0402 令和4年度に引き続き業務手順書の定期見直しを行い業務の可視化・平準化に努めた。										
中間評価	0401（達成状況） D											
	（実績評価）	・コンプライアンスの向上を目指して研修等を実施してはいるが、不適切な事務処理の撲滅には至っていない。										
	（今後の対応）	・引き続き事務処理ミスの未然防止に努める。										
中間評価	0402（達成状況） B+											
	（実績評価）	・年に1度、全ての手順書について見直しを行いつつ、新規の追加もを行っている。										
	（今後の対応）	・引き続き定期的な見直し及び新規追加を行っていく。										

05 情報公開及び個人情報保護の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2			
				達成数	1	1	0	0	0			
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容			管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0501	情報公開制度の適正な運用	情報公開請求に係る15日以内の処理割合	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	庶務課	
			100%	実績値	85.2	92.2	90.2					
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成					
0502	個人情報保護制度の適正な運用	自己情報開示請求に係る15日以内の処理割合 ※	R1	目標値	100	100	—	—	—	%	庶務課	
			100%	実績値	100	100	—	—	—			
				評価	○ 達成	○ 達成	—	—	—			
0503	個人情報保護制度の適正な運用	保有個人情報開示請求に係る30日以内の処理割合 ※	R1	目標値	—	—	100	100	100	%	庶務課	
			100%	実績値	—	—	—	100				
				評価	—	—	—	○ 達成				
年度評価	R3	0501 15日を超過する処理となった案件があり、目標未達成となった。適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知を徹底していく。 0502 今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていく。										
	R4	0501 15日を超過する処理となった案件があり、目標未達成となった。適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知を徹底したい。 0502 今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていきたい。 ※制度改正に伴い令和5年度以降の管理指標については、当該指標中「15日以内」を「30日以内」に改める。										
	R5	0501 15日を超過する処理となった案件があり、目標未達成となった。適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知を徹底したい。 0503 今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていく。										
	中間評価	0501（達成状況） D										
		（実績評価）	・適宜注意喚起その他制度周知を図っているものの、例年5件程度の案件が15日を超過している状況となっているため、その是正に向け、職員に対する制度周知を徹底したい。									
	（今後の対応）	・適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知を徹底していくように努める。										
		0503（達成状況） A										
	（実績評価）	・管理指標に沿った適正処理ができた。										
	（今後の対応）	・今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていきたい。										

※制度改正に伴い令和5年度以降の管理指標0501については、当該指標中「自己情報開示請求」を「保有個人情報開示請求」に、「15日以内」を「30日以内」に改めたため、管理指標0503を新設した。

06 情報化の推進及びデジタル社会への対応		達成状況		指標数	4	4	4	4	4	単位 担当課	
		達成状況		達成数	4	4	4	0	0		
主な内容		管理指標	基準値	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
				R3	R4	R5	R6	R7			
0601	ホームページ・メールマガジンの充実	ホームページアクセス件数	H27-R1平均	目標値	805,000	810,000	815,000	820,000	825,000	件	デジタル政策課
			802,792件	実績値	1,497,895	1,262,677	904,138				
			R1	目標値	13,000	13,500	20,000 (14,000)	20,200 (14,500)	20,400 (15,000)	人	デジタル政策課
		メールマガジン登録者数	12,671人	実績値	19,182	19,940	20,487				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0602	オープンデータ化の推進	オープンデータの公開件数	R3.2.1	目標値	50	65	130 (80)	145 (95)	160 (110)	件	デジタル政策課
			34件	実績値	82	117	133				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
0603	基幹系システムのクラウド運用	基幹系システムの稼働率	-	目標値	99.90	99.90	99.90	99.90	99.90	%	デジタル政策課
			※5	実績値	100	100	100				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。										
	0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。										
	0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。										
R4	0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。また、メールマガジン登録者数については、令和4年度の実績を踏まえ目標値の再設定を行った。										
	0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。また、積極的に公開しているため、目標値の再設定を行った。										
	0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。										
R5	0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。										
	0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。										
	0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。										
中間評価	0601 (達成状況) A										
	(実績評価)	・2つの管理指標ともに令和7年度の目標値を上回る実績となっている。									
	(今後の対応)	・両媒体ともに市民に情報を伝えるための手段であるため、より分かりやすく有益な情報を発信できるよう、職員に対する研修等を継続して実施していく。									
	0602 (達成状況) B+										
	(実績評価)	・各年度の目標値は達成しているものの、最終的な目標値として設定している令和7年度には届いていないが、概ね順調に進捗している状況である。									
	(今後の対応)	・年度ごとに定められている目標値を達成するため、積極的なデータ公開に努めるよう全庁的に周知を図っていく。									
0603 (達成状況) A											
(実績評価)	・令和7年度の目標値を上回る実績となっている。										
(今後の対応)	・引き続き基幹系システムの安定的な運用に努めていく。										

※5 システムのクラウド化に伴い、計測方法等が異なるため、基準値を一とした。

07 行政内部の電子化の推進			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
主要内容			管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0701	電子化（キャッシュレス納税、ペーパーレス化、電子決裁等）に向けた検討及び導入	電子化の導入件数（累計）	※6	目標値	1	2	3	4	5	件	デジタル政策課 庶務課 収納課 企画課
				実績値	1	3	4				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	0701	令和3年9月から、納付書に印刷されたバーコードをスマートフォンで読み取ることによりクレジットカードや電子マネーで納付することができるキャッシュレス納税サービスを導入し、納税者の利便性を向上させることができた。									
R4	0701	「伊東市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」の施行及び電子申請システムを導入し、子育て・介護関係の手続について電子申請を可能とした。【1件】また、ビジネスチャットシステムについて、本格運用を見据えた試行運用を実施した。令和5年1月から、軽自動車税種別割の納付情報を軽自動車JNKs（車検時に滞納がないことを電子的に確認ができるシステム）に自動連携をさせ、軽自動車協会における軽自動車車検時の納税証明書の添付が原則不要となった。【1件】									
R5	0701	市民サービス、行政運営、地域経済の活性化の3つの柱について、市民ファーストのデジタル化に取り組み、持続可能なまちづくりを推進することを目指し、2月に「デジタルファースト宣言」を表明し、市公式LINEリニューアルのための予算を確保した。また、令和5年4月からQRコード等を利用した納付が開始され、金融機関で収納したデータが地方税共同機構を通じ送信されるため、金融機関からの紙媒体での伝達が減少した。【1件】									
中間評価	0701（達成状況）			B+							
	（実績評価）	・納税環境の電子化は着実に進んでおり、令和5年度は目標値を達成した。「デジタルファースト宣言」を表明し、市公式LINEリニューアルのための予算も確保したことから、次年度以降も電子化の導入を推進していく。									
	（今後の対応）	・市公式LINEリニューアルを皮切りに、市民が手元のスマートフォンでできる手続きを増やしてため、DX推進部会員への意識の浸透を図り、公的個人認証やキャッシュレス決済等の機能についても搭載を検討していく。									

※6 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

08 文書等の標準化			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
主要内容			管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0801	標準的な文書等の作成のための仕組みづくり	文書事務研修会の開催	R2 1回	目標値	1	1	1	1	1	回	庶務課
				実績値	1	1	1				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	0801	文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									
R4	0801	文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									
R5	0801	文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									
中間評価	0801（達成状況）			A							
	（実績評価）	・継続的な研修実施のほか、ガルーン掲載による全庁的な周知により、適正文書事務の定着を図った。									
	（今後の対応）	・今後とも適正文書事務の定着に向けた研修及び制度周知に努めていきたい。									

※機構改革に伴う業務の見直しのため、～R4：秘書課、情報政策課、R5～：職員課、デジタル推進課

※目標値における（）は、当初の目標値

担当課	財政課・企画課・収納課・課税課・公営競技事務所	構想の推進1の全指標達成率					
構想の推進	総合計画を推進するための土台づくり	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	3 健全かつ持続可能な財政運営	指標数	13	13	13	13	13
目指す姿	健全かつ持続可能な財政運営ができています	達成数	11	9	9	0	0
		達成率	84.6%	69.2%	69.2%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	2	2	2	2	2		
		達成数	1	1	1	0	0		
		達成率	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
成果指標 1	全ての会計の地方債残高（臨時財政対策債を除く）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
目標値の考え方	R1の324億円を基準に、健全化判断比率の状況等を勘案して、現在は、適正な地方債残高だと判断し、今後、大幅な増収も見込めないことから、借入を抑制し、将来の負担を軽減するために300億円以下と目標値を設定した。	R1	目標値	320	315	310	305	300	億円 以下 財政課
		324億円	実績値	310	298	285			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
成果指標 2	「市の財政の健全な運営」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位 担当課
目標値の考え方	R2の52.1%を基準値と考え、市民の過半数が本市の財政状況を憂うことなく、生活（市民サービスを受）できている状態である現状を維持していくことを目標としたため。	R2	目標値	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	% 以上 財政課
		52.1%	実績値	45.3	49.4	47.6			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
R3年度	1 (実績評価)	地方債残高については、目標を達成できた。一般会計において、これまでの大規模事業の実施により地方債残高が増加しことに加え、新図書館建設事業が進捗しているため、今後借入の抑制に努める必要がある。 (次年度修正点) ・今後も借入の抑制に努めていく。							
	2 (実績評価)	令和2年度に比べ6.8ポイント悪化した。 (次年度修正点) ・市民に分かりやすい財政状況の開示に努めていく。							
R4年度	1 (実績評価)	地方債残高については、目標を達成できた。一般会計において、令和4年度の借入額が抑えられたことにより地方債残高が減少したものの、今後も大規模事業が見込まれるため、借入の抑制に努める必要がある。 (次年度修正点) ・今後も借入の抑制に努めていく。							
	2 (実績評価)	令和3年度に比べ、4.1ポイント上昇したものの、目標値には届かなかった。 (次年度修正点) ・市民に分かりやすい財政状況の開示に努めていく。							
R5年度	1 (実績評価)	地方債残高については、目標を達成できた。一般会計において、令和5年度の借入額が抑えられたことにより地方債残高が減少したものの、今後も大規模事業が見込まれるため、借入の抑制に努める必要がある。 (次年度修正点) ・今後も借入の抑制に努めていく。							
	2 (実績評価)	令和4年度に比べ1.8ポイント悪化した。 (次年度修正点) ・財政健全化法に基づく健全化判断比率は、各指標において適正な水準を維持しており、財政の健全な運営自体はできているため、広報や周知に当たっては手法や回数を研究し、市民に分かりやすい財政状況の開示に努めていく。							
中間評価	1 (達成状況)	A							
	(実績評価)	地方債残高については、令和3年度から令和5年度までのすべての年度で目標を達成できた。一般会計において、令和3年度以降の借入額が抑えられたことにより地方債残高が減少したものの、今後も大規模事業が見込まれるため、借入の抑制に努める必要がある。 (今後の対応) ・今後も借入の抑制に努めていく。							
評価	2 (達成状況)	D							
	(実績評価)	財政健全化法に基づく健全化判断比率は、各指標において適正な水準を維持しており、財政の健全な運営自体はできていたものの、ホームページや広報紙による広報において、市民に対して分かりやすく伝えることができなかった。 (今後の対応) ・引き続き、健全な財政運営に努めるとともに、広報周知に当たっては、先進的な自治体の広報手法も研究し、市民全員が本市の財政状況を憂うことなく、生活市民サービスを受受できるよう市民に分かりやすい財政状況の開示に努めていく。							

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）			指標数	11	11	11	11	11	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
			達成数	10	8	8	0	0		
			達成率	90.9%	72.7%	72.7%	0.0%	0.0%		
O1 健全な財政運営と財政基盤の強化	達成状況	指標数	3	3	3	3	3			
		達成数	3	2	2	0	0			
		達成率	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%			
		主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位
O101 歳入の確保と歳出の抑制	実質収支比率	R1	目標値	3.0~5.0	3.0~5.0	3.0~5.0	3.0~5.0	3.0~5.0	%	財政課
		2.3%	実績値	5.4	5.3	6.3				
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成			程度		
O102 経常経費の節減	経常収支比率	R1	目標値	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	%	財政課
		88.8%	実績値	83.1	88.8	88.1				
		評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成			以下		
O103 借入金の健全化	実質公債費比率	R1	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	%	財政課
		6.1%	実績値	5.7	5.6	5.9				
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成			以下		
年度評価	R3	O101 実質収支比率については、目標を達成できた。地方消費税交付金や地方交付税が増加し、人件費が減少したことなどから、前年度より改善した。								
		O102 経常収支比率については、地方交付税、地方消費税交付金及び地方特例交付金が増加し、人件費が減少したことなどから、目標を達成することができた。今後についても、さらに経常経費を抑制しつつ、市税の増収に努めていく。								
		O103 公債費比率については、目標を達成できた。要因としては、分子において、公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金が19,499千円、公債費に準ずる債務負担行為に係るものが64,735千円増加したものの、分母において、普通交付税額が943,635千円、臨時財政対策債発行可能額が382,499千円増加していること等による。								
	R4	O101 実質収支比率については、目標を達成できた。新型コロナウイルス感染症の影響緩和により地方税が増加したものの、地方特例交付金が減少したこともあり、前年度とほぼ同水準となった。								
		O102 経常収支比率については、歳出では、人件費、物件費及び繰出金が増となり、歳入では、地方税や地方交付税が増となる一方で、地方特例交付金や臨時財政対策債が減となり、目標を達成することはできなかった。今後については、歳出においてはさらに経常経費を抑制しつつ、歳入においては市税の増収に努めていく。								
		O103 実質公債費比率については、目標を達成できた。要因としては、分子においては、元利償還金の額が47,975千円、公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金41,853千円増加しているものの、分母において、普通交付税額が386,836千円、標準税収入額が218,389千円増加していること等による。								
	R5	O101 実質収支比率については、目標を達成できた。地方税や地方交付税が増加し、物件費が減少したことなどから、前年度より改善した。								
		O102 経常収支比率については、歳出では、公債費、扶助費及び繰出金が増となり、歳入では、地方税や地方交付税が増となる一方で、地方消費税交付金や臨時財政対策債が減となり、前年度より改善したものの、目標を達成することはできなかった。今後については、歳出においてはさらに経常経費を抑制しつつ、歳入においては市税の増収に努めていく。								
		O103 実質公債費比率については、目標を達成できた。元利償還金の額が30,010千円増、公債費に準ずる債務負担行為に係るものが20,163千円増、臨時財政対策債発行可能額が213,242千円減など指標悪化の要因もあったものの、普通交付税額が231,825千円増、標準税収入額が305,723千円増など指標改善の要因もあり、総合すると前年度よりも若干の悪化ではあるものの、引き続き目標値の範囲内となった。								
中間評価	O101（達成状況） A									
	（実績評価）	・実質収支比率については、令和3年度から令和5年度までのすべての年度で目標を達成できた。								
	（今後の対応）	・歳出においてはさらに経常経費を中心に抑制しつつ、歳入においては市税の増収に努めていく。								
	O102（達成状況） B-									
	（実績評価）	・経常収支比率については、令和3年度は目標を達成できたものの、エネルギーや原材料価格の高騰により経常経費が伸びたことなどから、令和4年度及び令和5年度は目標を達成できなかった。								
	（今後の対応）	・歳出においてはさらに経常経費を抑制しつつ、歳入においては市税の増収に努めていく。								
O103（達成状況） A										
（実績評価）	・実質公債費比率については、元利償還金や公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金の伸びが緩やかであったことや普通交付税が一定の伸びを示したことなどから令和3年度から令和5年度までのすべての年度で目標を達成できた。									
（今後の対応）	・今後も実質公債費比率を引き上げる要因となる元利償還金の伸びを抑えるため、起債借入を抑制していく。									

O2 財源の効果的活用			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	0	0	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0201 PDCAマネジメントサイクルの推進	見直し事業の割合	R2	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	%	企画課	
		実績値	22.8	23.8	22.1						
		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成						
R3	0201 令和2年度に比べるとパーセンテージが上昇したが、目標値には届かなかった。令和4年度については、重点的な見直し項目を増やすことで、積極的な見直しにつなげる。										
R4	0201 見直し事業数は増えたが、事業数も増えており、割合としては目標値に届かなかった。令和5年度についても、引き続き見直し項目を増やし、積極的な見直しにつなげる。										
R5	0201 全事業数は増加した一方で、見直し事業数は減少となった。型通りの作業にとどまらない事務事業の見直しを実施していくため、職員の意識醸成も図っていく。										
中間評価	0201 (達成状況) D										
	(実績評価)	<ul style="list-style-type: none"> 一定規模の見直しは行われているものの、事業見直しの形式化、また見直しよりも事業拡大や新規事業の創設に重点が置かれる傾向があり、見直し件数の割合は20%前半にとどまっている。 									
(今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> サマーレビューの原点に立ち返った意識啓発とともに、各役職における関わりを明確にし、事業担当者や係内にとどまらない議論が行われる仕組みにつなげていきたい。 										

O3 自主財源の確保			達成状況	指標数	4	4	4	4	4			
				達成数	4	3	3	0	0			
				達成率	100.0%	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課		
0301 課税客体的確な把握	現年課税分調定額(個人市民税)	R1 2,893,707千円	目標値	2,707,242	2,750,000	2,855,787 (2,800,000)	2,679,929 (2,900,000)	3,000,000	千円	課税課		
			実績値	2,875,985	2,900,682	3,004,722						
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
	現年課税分調定額(法人市民税)	R1 484,380千円	目標値	393,038	383,711	469,669 (383,711)	452,932 (383,711)	383,711	千円	課税課		
			実績値	396,785	427,426	440,065						
			評価	○ 達成	○ 達成	× 未達成						
現年課税分調定額(固定資産税)	R1 5,329,725千円	目標値	4,714,800	5,328,900	5,114,350 (5,308,900)	5,076,582 (5,168,900)	5,168,900	千円	課税課			
		実績値	4,861,871	5,160,997	5,180,004							
		評価	○ 達成	× 未達成	○ 達成							
0302 徴収体制の強化	市税の収納率	R1 92.1%	目標値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	%	収納課		
			実績値	94.1	94.9	95.1						
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
年度評価	0301 3項目全てにおいて目標を達成した。											
	R3	0302 市税の収納率は、滞納整理の推進により、現年度分は引き続き前年度を上回り、加えて、滞納繰越分において新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例を受けたものが納付された結果、目標値を2.1%ほど上回ることができた。										
	R4	0301 評価：固定資産税調定額については、土地の下落修正及び家屋の新築件数の減少から目標値を下回った。目標値の修正：令和5年現年課税分調定額目標値について、より現実の数値に近づけるため、令和5年度当初予算額に修正する。 0302 市税の収納率は、滞納整理を推進する中で、滞納繰越分は新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例を受けたものの納付があった前年度から反動減となったが、現年度分は引き続き前年度を上回り、目標値を1.9%ほど上回ることができた。										
R5	0301 評価：法人市民税調定額のうち、特に均等割が減少したことにより目標額を下回った。目標値の修正：令和6年度現年課税分調定額の目標値について、より現実の数値に近づけるため、令和6年度当初予算額に修正する。 0302 市税の収納率は、堅実に滞納整理を進めていく中で、目標値を上回ることができ、目標値を1.1%ほど上回ることができた。次年度以降も目標値に達するよう取り組んでいく。											
中間評価	0301 (達成状況) C											
	(実績評価)	<ul style="list-style-type: none"> 3項目すべてが令和7年度の目標値を達成したが、令和5年度当初予算額を設定した目標値には届かない項目もあった。 										
(今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適かつ公正な課税を行い、自主財源の確保に努めていく。 											
評価	0302 (達成状況) B+											
	(実績評価)	<ul style="list-style-type: none"> 収納率が毎年度、前年度を上回るなど確実に伸びており、これまでの取組が成果として表れていると考えている。 										
(今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組の成果が収納率の上昇につながっているため、引き続き、これまでの取組を確実にやっていくとともに、必要に応じ調査・研究しながら取り組んでいく。 											

O4 競輪事業の健全運営			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	3	3	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
主要内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O401 車券売上の増加対策 (場外発売及び電話・インターネット投票の拡大)	年間総車券売上高 (本場開催分)	R1 150億円	目標値	160	170	180	275 (190)	275 (200)	億円	公営競 技事務 所	
			実績値	270	318	329					
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
O402 新規ファンの獲得	民間ホ-ル外付による車券売上高 (重勝式+7賭式)	R1 48.5億円	目標値	68.8	73.1	77.4	206 (81.7)	206 (86.0)	億円	公営競 技事務 所	
			実績値	161.8	199.1	238.3					
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
O403 開催経費のより一層の 適正化	開催経費率(払戻金 75%を除く年間経費÷ 本場開催の年間総車券 売上高)	R1 25%	目標値	25.0	25.0	25.0	23.2 (25.0)	23.2 (25.0)	%	公営競 技事務 所	
			実績値	23.2	22.7	22.3					
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成					
年 度 評 価	R3	O401 電話・インターネット投票の売上が好調なため、目標を達成できた。引き続き、魅力ある競輪場をめざし、売上向上を図っていく。									
		O402 民間ポータルサイトの売上が全体売上の約59% (R2は約46%) に達する等好調なため、目標を達成できた。引き続きSNSや民間ポータル等を活用することによって、更なる売上向上を図っていく。									
		O403 選手賞金等の上昇もあったが、業務見直しの結果、目標を達成できた。引き続き業務の見直しを実施することによって、更なる経費率向上を図りたい。									
	R4	O401 電話・インターネット投票の売上が好調なため、目標を達成できた。引き続き、魅力ある競輪場をめざし、売上向上を図りたい。令和6年度に特別競輪「第9回ウイナーズカップ(GII)」開催が決定したため、目標値を増加した。									
		O402 民間ポータルサイトの売上が全体売上の約63% (令和3年度は約59%) に達する等好調なため、目標を達成できた。引き続きSNSや民間ポータル等を活用することによって、更なる売上向上を図りたい。令和6年度に特別競輪「第9回ウイナーズカップ(GII)」開催が決定したため、目標値を増加した。									
		O403 選手賞金等の上昇もあったが、業務見直しの結果、目標を達成できた。引き続き業務の見直しを実施することによって、更なる開催経費率向上を図りたい。									
	R5	O401 民間ポータルサイトを中心としたインターネット投票の売上が好調なため、目標を達成できた。引き続き、魅力ある競輪場をめざし、売上向上を図っていく。売上好調につき過去3か年が目標値を上回ったため、目標値を上方修正した。									
		O402 民間ポータルサイトの売上が全体売上の約72% (令和4年度は約63%) に達する等好調なため、目標を達成できた。引き続きSNSや民間ポータル等を活用することによって、更なる売上向上を図りたい。売上好調につき過去3か年が目標値を上回ったため、目標値を上方修正した。									
		O403 選手賞金等の上昇もあったが、業務見直しの結果、目標を達成できた。引き続き業務の見直しを実施することによって、更なる開催経費率向上を図りたい。売上好調につき過去3か年が目標値を上回ったため、目標値を上方修正した。									
中 間 評 価	O401 (達成状況) A										
	(実績評価)	・競輪界全体で売上が好調の中、当競輪場も民間ポータルサイト・インターネット投票の売上が好調なミッドナイト、ナイター競輪を計画的に実施することで、年間総車券売上高の向上に繋がっている。									
	(今後の対応)	・令和7年度から競輪場再整備も本格的に開始されるため、今後一時的には年間総車券売上高の減少が考えられるが、競輪場選手宿舎の増築等魅力ある競輪場をめざし、売上向上を図っていく。									
	O402 (達成状況) A										
	(実績評価)	・令和5年度の民間ポータルサイトの売上が伊東市の車券売上全体の約72%に達する等インターネット投票の好調に支えられて、新規ファンの獲得が進んでいる。									
	(今後の対応)	・引き続きSNSや民間ポータル等を活用することによって、更なる新規ファン獲得と売上向上を図っていく。									
O403 (達成状況) A											
(実績評価)	・選手賞金が令和3年度から毎年約10%上昇しているが、売上についても令和3年度から平均約10.9%伸びていることに加え、継続的に経費を見直す等業務改善を進めた結果、目標を達成する開催経費の適正化目標を達成できた。										
(今後の対応)	・令和6年度から本場運営業務を委託するとともに、競輪場再整備に併せて効率的な競輪場運営ができるよう、施設所有者とも連携して更なる開催経費の適正化を進めていく。										

※目標値における○は、当初の目標値